

## NIRA FORUM 2025

午後の部 | テーマ別セッション

## Theme 1

理で納得、情で共感

## Theme 2

国と地方の役割分担のあり方

## Theme 3

女性活躍と年収の壁

——男女賃金格差をどう縮小するか——

## Theme 4

少数与党時代における財政リスク



伝わる政策、  
信頼できる政府  
をつくる

人々と政府の  
意識をつなぐ政策共創

日時 2025年2月1日[土] 13:00～15:30

会場 赤坂インターシティコンファレンス

## Theme 1

# 理で納得、情で共感

401

政府からの情報発信は一方的でわかりにくいことが多く、政策の意図や内容が十分に人々に伝わっていない。また、政府や政治家との心理的な距離は不信感の源となり、たとえば、インターネット上では政策情報が迅速に広まる一方、メッセージが歪んで伝わり、誤解や過剰反応が原因で「炎上」するケースも増えている。

このような状況で、政策の意図や内容が国民に十分に理解されないまま批判が広がるという問題が生じている。政策を実現するには、人々の政策への理解と、政治家や組織への信頼が不可欠だ。理解とは論理的なもの(=「理」)であり、信頼とは感覚的なもの(=「情」)ともいえる。どうすれば、人々の「理と情」に訴えることができるのだろうか。

本会合では、政治家、ジャーナリスト、政治学、社会心理学者など多様な分野でご活躍の方々による議論を行い、とるべき方策や具体的手法などを議論する。



## Theme 2

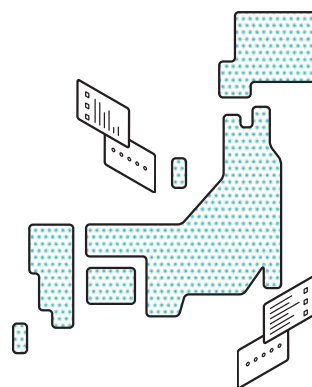
# 国と地方の役割分担のあり方

404

1990年代以来の地方分権改革については、今日なお多くの議論がある。30年前と比べ自治体の自主性、自立性が着実に大きくなっているという意見がある一方、コロナ禍などの緊急時対応やDXなどにおいてむしろ国の役割を強化すべきという主張や、個別法令や計画策定などを通じて、実質的に国のコントロールが残っていることを問題視する考えもある。

日本全体で人口減少が進む中、国と地方自治体の役割分担をいかに再定義し、そして体力の奪われている地域の主体性や自律性をいかに確保していくべきなのか。また、地域の独自性を強めるためには、現行の財政制度をどのように見直すのが望ましいのか。

地方が置かれている状況の厳しさを明確にするとともに、地域の未来を主体的に選ぶ取るための政策のあり方を議論する。



## Theme 3

# 女性活躍と年収の壁 ——男女賃金格差をどう縮小するか——

the Green

「第3号被保険者」制度に伴ういわゆる「106万円の壁」による就労調整をなくす改革は、女性が希望通りに働いてその潜在能力を発揮し、生涯年収と将来の年金額を向上させる有効な手段であるとともに、社会保険制度の公平性を確保し、日本の労働力不足の解消に寄与する可能性がある。

一方、壁を超えて働くことによる目先の社会保険負担増加によって、家計の短期的な手取りが減ることを懸念する人々も多い。国民の合意形成を得ながら政策を進めるためには、どのように改革を進め、国民に伝えていくべきか。

「共働き・共育て」社会に変えていくためには、企業の手当の在り方や働き方改革、家族での話し合いも必要はなはずである。本会合では、社会保険制度の「年収の壁」の改革を進め、女性の潜在力を発揮できる社会へつなげていくための、具体的な方策や手法などを議論する。



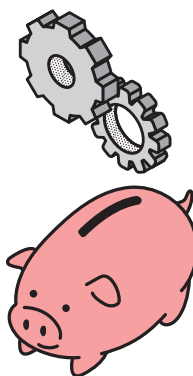
## Theme 4

# 少数与党時代における財政リスク

405

日本の財政状況は厳しさを増しており、持続可能性を確保するための長期的視点が不可欠である。財政健全化の必要性は広く共有されているものの、少数与党の下では短期的な利益を重視する政策が提案されやすく、ばらまき政策が議論の中心となる懸念がある。特に、近年はSNSをはじめとする新興メディアが若年世代に大きな影響を及ぼすようになっており、一方的な情報発信が強まっている。

ここでは、今後の財政動向・健全な財政運営の方向性を幅広く共有し、そのうえで、少数与党時代における政策停滞を避けるための方策について探る。特に、ドイツでの連立政権の運営方法を参考にしながら、日本における政策運営のあり方、また、メディアのあり方について議論を深める。

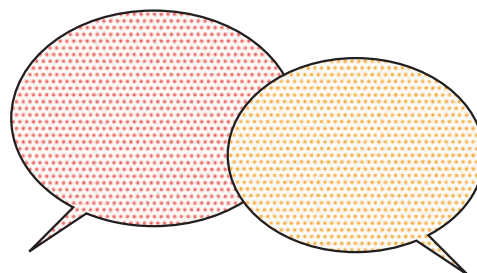


## Cross-Thematic

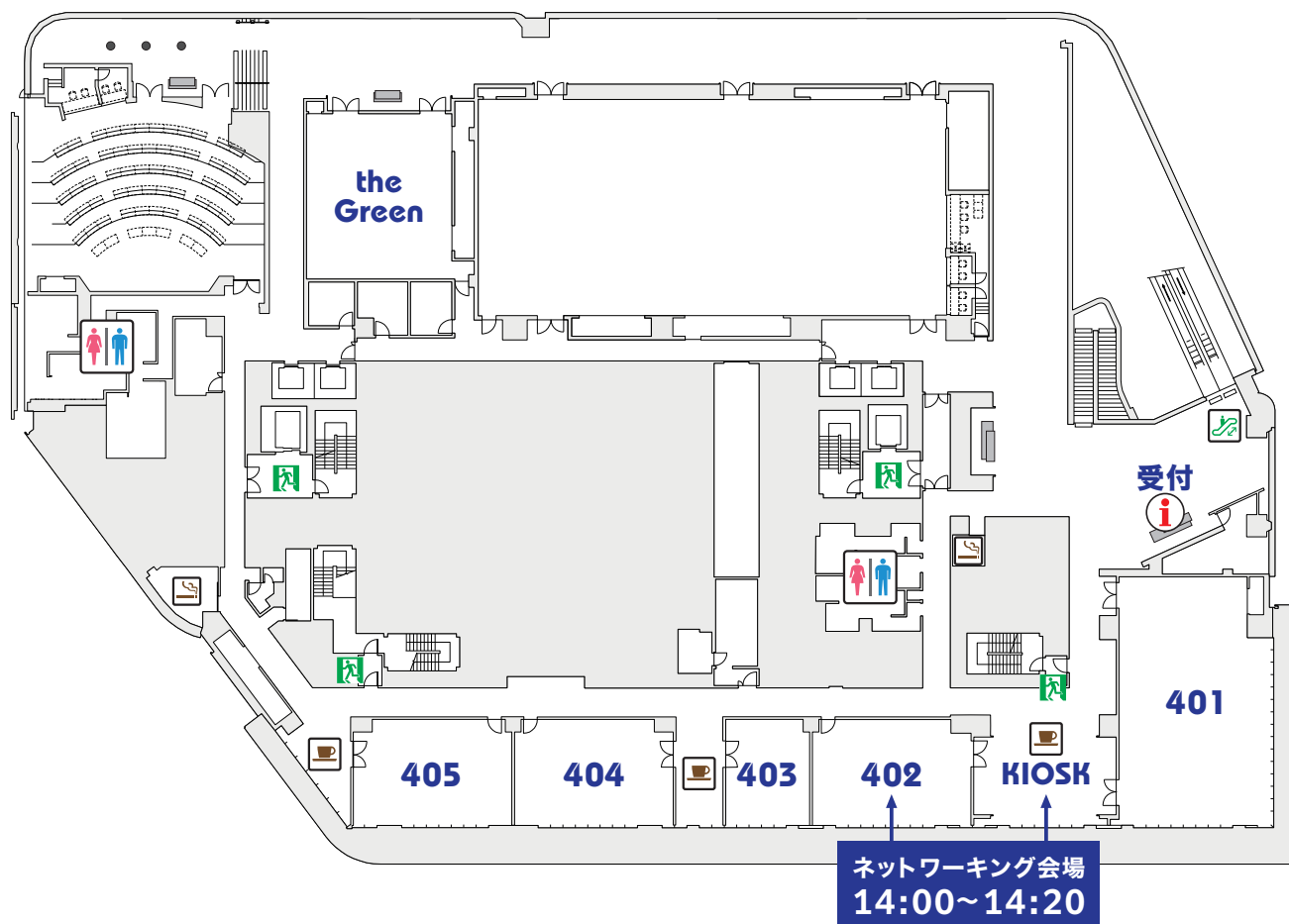
# ネットワーキング

402

KIOSK  
(コーヒーコーナー)



赤坂インターシティコンファレンス (赤坂インターシティ 4F)



## テーマ別セッション参加者リスト (セッション別)

(敬称略)

| 氏名     | 所属                     | 参加テーマ       |
|--------|------------------------|-------------|
| 小林 哲郎  | 早稲田大学教授                | 1 理で納得、情で共感 |
| 芹川 洋一  | 日本経済新聞社客員編集委員          | 1 理で納得、情で共感 |
| 高安 健将  | 早稲田大学教授                | 1 理で納得、情で共感 |
| 谷本 有香  | Forbes JAPAN 執行役員      | 1 理で納得、情で共感 |
| 松本 朋子  | 東京理科大学准教授              | 1 理で納得、情で共感 |
| 山岸 一生  | 衆議院議員                  | 1 理で納得、情で共感 |
| 大沢 博   | 総務省自治財政局長              | 2 国と地方      |
| 大林 尚   | 日本経済新聞社編集委員            | 2 国と地方      |
| 木下 斉   | エリア・イノベーション・アライアンス代表理事 | 2 国と地方      |
| 木原 隆司  | ノースアジア大学教授             | 2 国と地方      |
| 越 直美   | 三浦法律事務所パートナー（前大津市長）    | 2 国と地方      |
| 砂原 庸介  | 神戸大学教授                 | 2 国と地方      |
| 沼尾 波子  | 東洋大学教授                 | 2 国と地方      |
| 三日月 大造 | 滋賀県知事                  | 2 国と地方      |
| 三神 万里子 | ジャーナリスト                | 2 国と地方      |
| 植松 利夫  | 財務省主税局審議官              | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 岡林 佐和  | 朝日新聞経済部記者              | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 駒村 康平  | 慶応義塾大学教授               | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 小安 美和  | Will Lab 代表取締役         | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 辻本 浩子  | 日本経済新聞社編集委員兼論説委員       | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 寺井 公子  | 慶応義塾大学教授               | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 中村 英正  | こども家庭庁長官官房長            | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 深澤 祐二  | JR 東日本会長               | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 安河内 賢弘 | 連合副会長／JAM 会長           | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 矢田 稚子  | 内閣総理大臣補佐官              | 3 女性活躍と年収の壁 |

|        |                            |             |
|--------|----------------------------|-------------|
| 山崎 史郎  | 内閣官房参与                     | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 宇南山 卓  | 京都大学教授                     | 4 財政リスク     |
| 片桐 満   | 法政大学准教授                    | 4 財政リスク     |
| 片山 健太郎 | 財務省主計局調査課長                 | 4 財政リスク     |
| 菅野 幹雄  | 日本経済新聞社論説委員長               | 4 財政リスク     |
| 瀬尾 傑   | スローニュース代表取締役               | 4 財政リスク     |
| 中空 麻奈  | BNP バリバ証券グローバルマーケット統括本部副会長 | 4 財政リスク     |
| 林 いづみ  | 桜坂法律事務所パートナー弁護士            | 4 財政リスク     |
| 平島 健司  | 東京大学名誉教授                   | 4 財政リスク     |
| 古田 大輔  | メディアコラボ代表取締役               | 4 財政リスク     |

#### 主催者

|       |                            |             |
|-------|----------------------------|-------------|
| 金丸 恭文 | NIRA 総研会長／フューチャー代表取締役会長兼社長 |             |
| 谷口 将紀 | NIRA 総研理事長／東京大学教授          | 1 理で納得、情で共感 |
| 宇野 重規 | NIRA 総研理事／東京大学教授           | 2 国と地方      |
| 翁 百合  | NIRA 総研理事／日本総合研究所理事長       | 3 女性活躍と年収の壁 |
| 柳川 範之 | NIRA 総研理事／東京大学教授           | 4 財政リスク     |